

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 宮前第二教室

保護者等数(児童数)16

回収数 12

割合 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8			1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5		2	2	第二は若干階段が急な気もしますが、手すりもつけて頂いているので。	視覚的に階段昇降中に注意が他にむかないよう、キャラクターなどを階段に飾っている
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	1	6	機会があると良いと思います。	まずは保護者様関連を糸口に地域交流を深めていく事を検討します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9				充分すぎるほど相談に乗って頂き、感謝しております。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	2	1	1	父母同士でお会いできる機会を作ってほしいです。	昨年同様、今年もその機会を作っていきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		2		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9					
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	8			1		
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	2				
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1		3	ないような気もします。避難訓練があるのでしようか。	行っているが、周知不足であった。今年は更に周知回数、媒体を考慮したい。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9					
	18 事業所の支援に満足しているか	9					

136 7 4 16

83%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぱんはうすくら 宮前第二教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9		人口が集中しないよう、管理者が定期的に見守っている	
	2 職員の配置数は適切である	8	1		曜日によってばらつきはあるが概ね良いと思います もう1人から2人余裕がほしい
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	月に2度の職員会議の他に、月に1回のプログラム会議、支援方法会議が開かれている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		必要に応じて、このガイドラインアンケートの他、独自でアンケート調査をしている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		年に一度全職員必須の研修動画視聴義務、他社員に課された半年に8時間の研修義務がある、		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			保護者の要望があると割と早い段階で支援の変更がはいていると思う
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		児童名を一部伏せた障害特性の表を支援現場の所定位置に配置してあり、いつでも把握できるようにしている。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8		毎月1度プログラム会議を開催、パートの先生も含み、広くアイデアを募っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9		同上	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		長期休みには主に食事のAD支援や、宿題の支援など個々のニーズに合わせた支援を行っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7		3か月に1度、児発管からレター形式で個々の親御さんに個別活動の状況報告をおこなっている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	3	午後、とくに込み入った事情が多い日は打ち合わせを行っている。	業務の煩雑時にはできない事もある。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	必ずではないがその日気づいた事を発言しあっている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		日報とweb支援ソフト、個別支援ファイルを用いて記録をとっている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		児発管が定期的に支援者会議を開催し、(月に1度)支援状況に変化があれば、支援内容を更新している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		小学校でのカンファレンス、必要に応じて日中一時預かりサービス、支援学校などと話し合い、問い合わせを行っている。(基本的に問い合わせない関連機関はない、というスタンスを取っている)		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	幼稚園時の情報が必要な場合は遅滞なく連絡をしている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	現在、そのような卒業生を輩出する見込みはないが、就労移行支援事業所などへ連絡は取っている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	自立支援協議会へ参加する事で、左記センターの方と面談を持ち、必要時は、連絡をとれるようにしている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5		できていない。今後、どのようなかわり方があるか模索していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	積極的ではないが、(コロナ関連による)参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎時に毎回情報のやり取りを行っている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1		できていない。今年は、親御さん向けに講座開設していきたいとおもふ。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			今まで質問を受けた事はないが、そうなった場合、遅滞なく管理者に報告があるように連携している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		何度か相談を受け、その都度対応できている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1		昨年一度行ったがあまり成果としてあげられなかった。今後はそのあり方から再検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			現在のところ、苦情はないが、会った場合遅滞なく管理者に報告があるように連携が取れている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		定期的なブログ配信、児発管による3か月に一度の支援状況連絡、他、SNSを活用して情報を発信している	
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		地域支援の方法について職員で話し合いをする事になった。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	本部よりの作成マニュアルを参考に作成した。	
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		震災、火災、洪水訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		全職員必須の虐待防止動画研修、社員全員の半年に8時間の研修義務制度がある。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			現在までに、必要性を感じる支援はなかったが、今後を見越して、検討したい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	運営会社内で、全教室分を共有している。	